

# 心の天気、晴れになれ！



にのみや学園 二宮町立二宮西中学校 学校だより 第9号 令和6年3月25日発行

不定期発行

## <表彰>

・第六十九回青少年読書感想文コンクール 神奈川県審査会 入選 (三年生)



## 卒業式

3月12日(火)の卒業式には、二宮町長や議会議員、地域の方を来賓としてお迎えし、そして大勢の保護者の方々も列席していただいていた行われました。4年ぶりのことでした。

一人一人に卒業証書を渡すときに、これまでの成長とこれからの期待の両方が私の頭の中をよぎりました。また、何人かの生徒については、小学校1年生の頃の姿が思い出され、子どもは確実に成長することを改めて感じました。この子たちが迎えるこれからの世の中がどうなっているのかの予想はつきませんが、それぞれの**自己実現と幸せな人生**を歩んでほしいと願っています。

若者は、夢と希望をもって入社してきます。しかし、一度失敗すると簡単に夢や目標を変えることがあるそうです。これは、ある企業の方のお話です。

苦労や失敗を経験すること無し的人生はあり得ないことは誰でも承知しているはずですが、実際に逃げたり辞めたりする人がいるようです。私たち教職員は、どのような世の中になっても、自分を見失わず歩いていく力の育成に努力してきました。義務教育9年間は、社会で生きていくための基礎基本ですので、子どもたちは今まで学んできたことを礎にしてグングンと自分を伸ばしていくことでしょう。



式の後、卒業生による合唱がありました。心のこもった力強い歌に、子どもたちのたくましさを感じるとともに、私たち教師が今まで関わってきたことへの**“答え”**をいただいたように思いました。その**“答え”**を言葉に表すのがとても難しいのであります。



## 生徒会スローガン “育てよう大切な心の気” 「優気」「活気」「本気」「根気」「輝気」

「優気」 優しいという字をあてています。本当に優しい心をもった卒業生でした。その優しさをお互いに交換しながら生活してきました。体育祭や秋麗祭でのクラスの強い絆は、その証でもあります。優しい人には、優しい人が現れるものですから、これからの出会いを大切にしてほしいです。

## 繋ぐ(つなぐ)

あっという間に一年が過ぎた感じですが、振り返ってみると生徒たちのエネルギーの凄さが印象に残っています。体育祭でのクラスの士気の高まり、秋麗祭での合唱や切り絵に打ち込んだ姿は、お互いを認め合う心が育っているからこそその表れです。

特に、卒業生の姿は、一、二年生に、クラスでまとまることの意味を伝えてくれました。

中学校で経験した人との関わり方は、これからの人生に必ず役立ちます。4月には新一年生が入学してきますが、卒業生が繋いでくれた心をしっかりと後輩に受け継いでほしいものです。



保護者の皆様へ

今年度もさまざまな場面でご協力をいただきありがとうございました。令和6年度もどうぞよろしくお願ひいたします。